



腸管出血性大腸菌等感染症

オー

0 1 5 7 等に注意しましょう！

1 腸管出血性大腸菌感染症の特徴

大腸菌は、家畜や人の腸内にも存在します。ほとんどのものは無害ですが、このうちいくつかのものは、人に下痢などを起こすものがあり、病原大腸菌と呼ばれています。

その中には、ベロ毒素を産生し、出血を伴う腸炎や溶血性尿毒症症候群（HUS）を起こす腸管出血性大腸菌と呼ばれるものがあります。代表的な0157の他に026や0111等が知られています。

非常に少ない菌数で感染するため、
感染力が強い。

大腸で増殖するときに毒素を
産出する。

2～14日と潜伏期間が長い。



2 主な症状

激しい腹痛と水様性下痢

血便（鮮血便）

発熱、吐き気、嘔吐等を併発する場合もある。

症状のある方は、速やかに医師の診察を受け、指示に従って下さい。



3 感染経路

菌に汚染された飲食物を食べる。

患者の糞便で汚染されたものを口にする。

4 予 防

生肉・生レバー・ユッケは要注意！

特に乳幼児やお年寄りなどの抵抗力の弱い人は、生食を控えて下さい。生肉に添えてあるサラダや野菜は、火を通してから食べましょう。

食品は内部まで十分に加熱して食べましょう。

(中心温度が75℃、1分以上)

焼肉、バーベキュー、すき焼きの時、生肉を触る箸と食事用の箸は別にしましょう。

調理前後、食事前、用便後は必ず石けんで手をよく洗いましょう。

タオルの共用はやめましょう。

まな板・包丁などの調理器具は必ずよく洗い、塩素系消毒剤などで消毒しましょう。

赤ちゃんに下痢が見られるときは、オムツを替えた後、沐浴した後など、こまめに石けんで、手を洗うようにしましょう。



お問い合わせ・相談はお住まいの地域の健康福祉事務所
(保健所)にご相談ください。

兵庫県健康福祉事務所 (保健所)

芦屋	0797-32-0707	宝塚	0797-72-0054
伊丹	072-785-2371	加古川	079-421-1101
明石	078-917-1627	加東	0795-42-5111
中播磨	0790-22-1234	龍野	0791-63-5140
赤穂	0791-43-2321	豊岡	0796-23-1001
朝来	079-672-6869	丹波	0795-72-0500
洲本	0799-22-3541		